

【終了報告書】

研修先大学/ 活動先機関名	ヨーク大学	参加 プログラム名	ヨークプログラム	国名	イギリス
氏名		学籍番号		学科	総合政策学部
参加時の 学年	1年	参加費用 (日本円で概算)	115万円		
参加日程	2026 年 6 月 29 日 ~	7 月 23 日 (3 週間)	記入年月日	2026 年 7 月 24 日	

① 参加前について

研修・活動に参加する目標は何でしたか。

この研修の参加目的は二つありました。一つ目は自分の語学力の向上です。特にスピーキング力、リスニング力の向上が目的でした。二つ目は、まだ行ったことのなかった、イギリスの文化や価値観について学び、自分に新たな発見を見出すことでした。今回私はこの両方について達成できたと感じています。一つ目の語学力に関しては、行く前から一番の不安を覚えていました。しかしながら、現地へ赴き、実際にホストファミリーと話してみると、完璧でなくていいから、単語を少しでも並べて喋れば行けるという精神で現地の人とたくさん話すことができました。確かにたまに自分の発音力がなく、伝わりにくい部分はありましたが、ジェスチャーを用いたり、類義語を用いて、理解してもらうことができました。ホストファミリーにも自分のスピーキング力をほめてもらうことができて非常に嬉しく、また、英語を話すことへの抵抗は無くなったように感じました。二つ目のカルチャーについてですが、最初は少しカルチャーショックおを受けることも多かったです。特に最初の頃はイギリスの食事についてい非常に抵抗感が強かったです。しかし、少しずつ日が経つにつれて、その食事について慣れてきて、むしろ私はその食事が好きになりました。また他にも、イギリスの人は冷たい人達という勝手なイメージがありましたが、むしろとても優しく、フレンドリーで、困っている又何も言わずとも教えてくれたり、問いかけてもニコニコしながら助けてくれました。また歴史のある国でたくさんの建築物を見学することができ、イギリスの人々の歴史を大切にしている価値観を学ぶことができました。

② プログラムについて

研修・活動の感想

私はこの研修について非常に参加して良かったというふうに考えています。行く前はとにかく不安で仕方なかったです。自分が果たして三週間もイギリスという初めて行く国で過ごして行けるのか、うまく現地の人とコミュニケーションが取れるのか、三週間自分の英語力を磨き、プレゼンできるのか、授業に参加して行けるのか、たくさんの不安があったのを覚えています。でもこの研修を終えようとして今、この研修に参加できた自分に誇らしく思います。研修で毎日通っていたヨーク大学の先生方は非常に優しく、私たちの乏しい英語力をしっかり理解し、私たちがしっかり理解できるようにゆっくり話しながら、一人一人とコミュニケーションをとってくださいました。実際にヨークの市内でインタビューも行い、しっかりやり方やポイントなどを教えていただきながら自信を持ってインタビューができたことはとても嬉しかったです。この英語でのインタビューも今までの自分の英語力に自信が持てるいい機会になりました。

研修・活動以外の部分についての感想

今回、私はホストステイ先が同じ方がいて、休日はほとんど二人で出かけることが多かったです。ロンドン、エディンバラ、リーズ、ナエスポロ、ハロゲイト、リーズ、リバプールに出かけました。少し、お金はかかりますが、行くことをぜひお勧めします。それぞれ違った良さがあり、古い建築物を見たり、イギリスの伝統的な料理を食べたり、お土産を買ったりと沢山のイギリスならではのことが体験できました。特にエディンバラは印象に残っています。ロンドンとは違い、少し寒く、しかしながら世界中のどこを探してもないようなエディンバラ城は見応えがありました。私たちはこのお城に大きな意味を持っていることを理解せずに現地に、行ってしまいましたが、その場でこのお城の歴史について調べると、非常に大きな意味をこのイギリスにおいて持っていることを知り、非常に感銘を受けました。イギリスはこの自国の文化を誇らしく思い、そしてこの歴史を継承する力が特に強い国だと感じました。

現地学生との交流について教えてください。 ※交流がなかった場合は、空欄で構いません。

現地学生と何度か交流する機会がありました。一つは大学の研修内で行われた他のショートプログラム参加者で他の国の人との交流でした。そこではイエメン、香港、中国の学生と交流しました。お互いの文化の相違や、イギリスとの違いなどたくさんの意見交換を行いました。フリーで話す時間もおり、私は特に香港人と多く喋りました。だいぶ仲良くなることができて、連絡先も交換することができました。他にも自由参加の現地生と交流する時間がありました。そこではイギリス人、インド人の現地学生と話すことができました。最初はなかなかうまく喋りかけることができませんでしたが、少しずつ喋れるようになり、ご飯やお菓子を食べながら、お互いの文化を交換したり、遊んだりすることができました。自分の英語力に少し自信を持てるようになったきっかけの一つでもあります。

③ 参加の成果について

今回の参加を経て、ご自身の中での学習面・精神面の成果があれば教えてください。

私は今回の研修で、今まで持っていたイギリスに対する価値観が大きく変わったように感じました。特に自国の文化を継承する力は日本よりも高く、非常に感銘を受けました。どこかしこも古い建物ですが趣があり私はとてもイギリスという国が好きになりました。人も非常にフレンドリーで私は勝手に冷たい人達と思っていたがそんなことはありませんでした。今の自分の中で百聞は一見にしかずという言葉が非常に頭に思い浮かびます。それぐらい私はこの研修で新たな文化と価値観を知ることができました。また、自分の英語力に関してですが、行く前よりもかなり自信がついたように思います。最初は心配でたまりませんでしたが、自分から話したり、生の現地の英語を聴きながら自分の英語を向上させることができたのは非常に良い経験になったと考えています。海外の人とコミュニケーションをとり文化を共有できることの嬉しさを感じることができました。これから日本に帰ってもこの経験を大きな励みに、さらに英語を話し、英語が得意！と言えるぐらいになりたいと思いました。

④ その他

その他、気づいたことや今後参加する方へのメッセージがあれば記入してください。

もしこのプログラムに参加するか迷っている方がいらっしゃったら私はこのプログラムに参加することを強くお勧めします。私も最初は不安で仕方なかったです。果たして一ヶ月近くも異国の地で過ごせるのか、カルチャーショックを起こさないか、英語が通じないのではないかと、たくさんの不安を抱えながらプログラムに参加しました。しかしながらこの研修を終える今、そのような不安は心配ご無用だったというふうに感じています。私は非常に英語は苦手です。しかし、このプログラムは英語がたとえ苦手でも現地の先生方がしっかりサポートしてくださり、一人一人としっかり理解できるまでコミュニケーションをとってくださるため、私も苦手ながら英語を喋るうちに、非常に英語を喋ることが苦しく感じなくなりました。今では自分の英語を話して通じることが非常に嬉しく感じています。またこの研修はたくさんのイギリスの文化を知ることができるのも魅力の一つです。私は全くイギリスについて知らず、むしろ偏見すら持っていました。しかし、この研修内で、ヨークのたくさんの場所へ出かけたり、休日にロンドンやエディンバラなど有名な観光都市に出かけて、普段は感じることはできない、イギリスの文化と歴史を肌で感じることで、自分に新たな知識が蓄えられたように思います。またこの研修で不安に思う方も多いかもしれないことがあれば、市民へのインタビューだと思えます。私も最初、インタビューする前までは帰りたいたいと感じてしまうほど怖かったです。しかし、現地校の先生がインタビューのポイントを教えてもらい、あとは少しの勇気さえあればとても楽しくインタビューすることができました。突然話かけるのはびっくりする、無視されるのではないかと心配していましたが、ヨークの方々是非常にフレンドリーで優しく、拙い英語もしっかり聞いてくれます。なので心配は必要ありません。私はこの研修でたくさんの発見をすることができたので、もし迷っている方がいらっしゃったらぜひ参加して後悔はないので参加してみたいです。

国際センターのHPに掲載してもよい写真があれば添付してください。キャプションもつけてください。



休日訪れたリバプールのビートルズ像



大学の屋外学習で訪れたウィットビーでのフィッシュ&チップス



大学の午前休憩に用意される紅茶とビスケット



休日に行ったハロゲイトのベティーズのアフタヌーンティー



ホームステイ先の近くの散歩道でみられる夜10時の夕焼け



休日に行ったロンドンのタワーブリッジ